

# 令和2年度 第2回 高松市国民健康保険運営協議会

日時：令和3年3月3日（水） 書面発送

場所：書面会議

# 目 次

## 【報告事項】

- 1 令和2年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算見込みについて・・・ 1
- 2 令和3年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算見通しについて・・・ 9
- 3 第2期高松市データヘルス計画中間評価及び見直しについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

## 【諮問事項】

- 1 令和3年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針（案）について・・・・・・・・・・・・ 26
  
- \* 参考資料・・ 別冊

## 報告事項

### 1 令和2年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算見込みについて

# 令和2年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算見込み

## 特色

### ■国民健康保険料は、80.6億円…対前年度比6.9億円（9.3%）の増

- ・保険料の改定に伴う増 約8.5億円
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保険料の減 約1.6億円  
(財政支援措置 国：約0.9億円 県：約0.7億円)
- ・保険料収納率（現年度分） R元実績：90.71% → R2見込み：91.91%（+1.20%）

### ■県支出金は、306.1億円…対前年度比10.1億円（3.2%）の減

- ・保険給付費の減に伴う普通交付金の減 約9.5億円

### ■歳出総額は、430.6億円…対前年度比13.9億円（3.1%）の減

- ・被保険者数の減や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受診控え等による保険給付費の減 約10.5億円  
(被保険者数 令和元年度：82,404人 → 令和2年度（見込み）：80,599人（▲1,805人）)
- ・保険給付費の減に伴う県納付金の減 約5.1億円

## 歳入・歳出決算状況（款別）

※決算状況の詳細については、別冊P1～4を参照

歳入科目	R 2 決算見込み(千円)	R 元決算(千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
国民健康保険料	8,062,927	7,373,780	689,147	+9.3
使用料及び手数料	6,016	4,148	1,868	+45.0
国庫支出金	129,357	0	129,357	皆増
県支出金	30,606,437	31,616,525	▲1,010,088	▲3.2
繰入金 (うち法定外)	4,155,612 (575,221)	5,365,622 (2,066,005)	▲1,210,010 (▲1,490,784)	▲22.6 (▲72.2)
繰越金	0	8,856	▲8,856	皆減
諸収入	99,804	83,248	16,556	+19.9
計	43,060,153	44,452,179	▲1,392,026	▲3.1

歳出科目	R 2 決算見込み(千円)	R 元決算(千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
総務費	620,044	543,582	76,462	+14.1
保険給付費	30,214,610	31,260,333	▲1,045,723	▲3.3
国民健康保険事業費納付金	11,653,633	12,159,276	▲505,643	▲4.2
保健事業費	484,644	435,623	49,021	+11.3
基金積立金	0	1	▲1	皆減
諸支出金	87,222	53,364	33,858	+63.4
計	43,060,153	44,452,179	▲1,392,026	▲3.1

## 歳入決算の主な増減

### ■款：国民健康保険料

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>8,062,927千円</b>	7,373,780千円	689,147千円	+9.3%

★保険料の改定に伴う増 約8.5億円

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保険料の減  
約1.6億円【別冊P19】  
(財政支援措置 国：0.9億円 県：0.7億円)

《参考》

★・保険料収納率(現年度分)【別冊P10】  
R元実績 90.71% → R2見込み 91.91%  
(+1.20%)

### ■款：国庫支出金

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>129,357千円</b>	0千円	129,357千円	皆増

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保険料収入の減に係る補助金の増(補助率10/10) 約0.9億円

オンライン資格確認等システムの導入に係る補助金の増(補助率10/10)【別冊P11】 約0.4億円

### ■款：県支出金

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>30,606,437千円</b>	31,616,525千円	▲1,010,088千円	▲3.2%

普通交付金の減 約9.5億円

### ■款：繰入金

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>4,155,612千円</b>	5,365,622千円	▲1,210,010千円	▲22.6%

その他一般会計繰入金の減 約14.9億円

★…令和2年度重点項目

## 歳出決算の主な増減

### ■款：総務費（細々目：国民健康保険証交付等事務費）

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>105,124千円</b>	73,924千円	31,200千円	+42.2%

★オンライン資格確認等システム改修の増【別冊P11】  
41,800千円（皆増）

### ■款：保険給付費（細々目：一般被保険者療養給付費ほか）

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>30,214,610千円</b>	31,260,333千円	▲1,045,723千円	▲3.3%

★一般被保険者療養給付費等の減 約10.5億円

★…令和2年度重点項目

## 歳出決算の主な増減

### ■款：保健事業費（細々目：健康推進費）

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>120,726千円</b>	106,544千円	14,182千円	+13.3%

第2期データヘルス計画中間評価業務委託の増  
4,474千円(皆増)

★若年層対策健康診査業務委託の増【別冊P13】  
3,532千円(皆増)

- ★・糖尿病性腎症重症化予防事業 9,313千円
- ・重複・多剤服薬者対策事業 5,630千円
- ★・人間ドック等費用助成【別冊P14】 9,084千円
- ★・後発医薬品の使用啓発 4,023千円

### ■款：保健事業費（細々目：特定健診事業費）

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>311,554千円</b>	288,072千円	23,482千円	+8.2%

- ★・特定健康診査業務医療機関委託【別冊P12】 282,462千円
- ・未受診者受診勧奨業務 10,571千円

### ■款：保健事業費（細々目：特定保健指導事業費）

R2決算見込み	R元決算	増減額	対前年度比
<b>35,650千円</b>	27,359千円	8,291千円	+30.3%

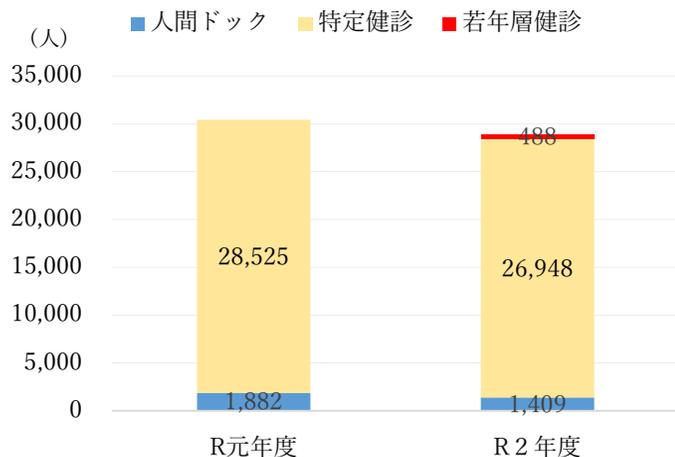
★…令和2年度重点項目

## ■特定健康診査等の実績の推移

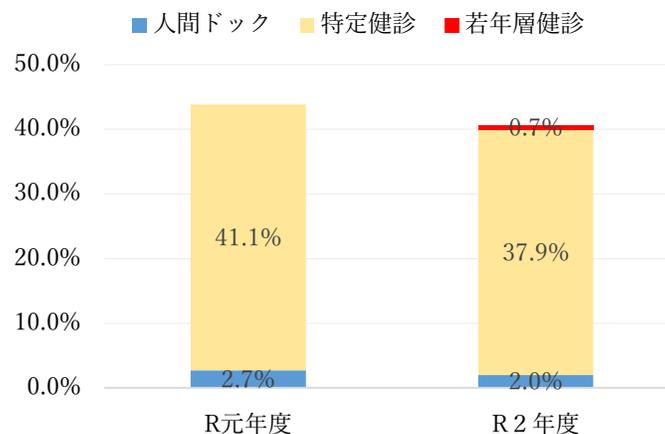
令和2年度の主な新規取組

- ・特定健康診査の自己負担額無料化等
- ・若年層対策健康診査（郵送型血液検査）
- ・人間ドック助成要件の変更（対象年齢・助成額引下げ等）

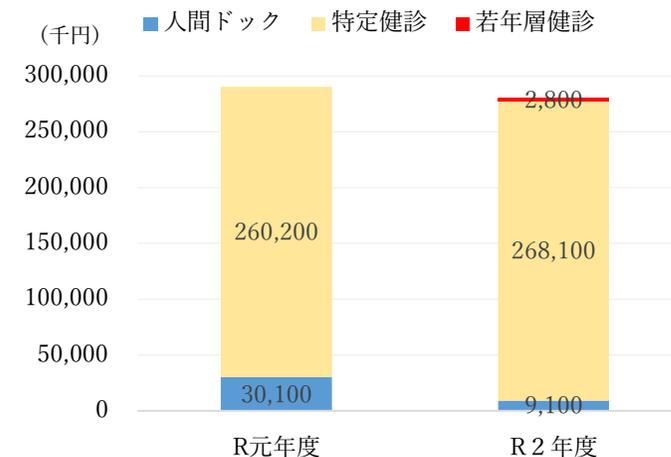
受診者数



対象者（35-74歳）に占める  
健診等受診者の割合



事業費



## ■評価(R3.1現在)

令和2年度は、特定健診の無料化や、人間ドックの対象年齢引き下げ等を行ったものの、特定健診等の受診者数は令和元年度と比較し、全体で約1,500人減少し、事業費では全体で約1,030万円の減となる見込みである。

要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えに加え、医師会との協議の上、特定健診の積極的な受診勧奨を控えたことや、人間ドックの一部中止などが考えられる。

一方で、郵送による若年層対策健康診査は、募集に対し98%の申込みがあり、コロナ禍においても有効な取組となった。これらの取組については、今後も継続的に評価を行い、保健事業の推進に努める。



## 報告事項

### 2 令和3年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算見通しについて

# 令和3年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算見通し

## 特色

■国民健康保険料は、77.8億円…対前年度比4.1億円（▲5.0%）の減

- ・世帯数の減に伴う減 約2.2億円【別冊P9】
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保険料の減 約1.9億円

■県支出金は、319.0億円…対前年度比5.4億円（▲1.7%）の減

- ・保険給付費の減に伴う普通交付金の減 約5.8億円

■歳出総額は、438.2億円…対前年度比11.3億円（▲2.5%）の減

- ・被保険者数の減等に伴う保険給付費の減 約6.2億円
- ・保険給付費の減に伴う県納付金の減 約4.8億円

## 歳入・歳出予算状況（款別）

※予算状況の詳細については、別冊P5～8を参照

歳入科目	R 3 当初予算見通し(千円)	R 2 当初予算(千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
国民健康保険料	7,784,688	8,198,002	▲413,314	▲5.0
一部負担金	2	2	0	-
使用料及び手数料	5,015	6,016	▲1,001	▲16.6
国庫支出金	0	41,800	▲41,800	皆減
県支出金	31,903,801	32,444,593	▲540,792	▲1.7
財産収入	0	1	▲1	皆減
繰入金 (うち法定外)	3,964,297 (524,969)	4,104,123 (847,760)	▲139,826 (▲322,791)	▲3.4 (▲38.1)
繰越金	1	1	0	-
諸収入	163,665	157,665	6,000	+3.8
計	43,821,469	44,952,203	▲1,130,734	▲2.5

歳出科目	R 3 当初予算見通し(千円)	R 2 当初予算(千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
総務費	608,334	615,088	▲6,754	▲1.1
保険給付費	31,500,400	32,118,642	▲618,242	▲1.9
国民健康保険事業費納付金	11,171,215	11,653,883	▲482,668	▲4.1
保健事業費	486,121	502,500	▲16,379	▲3.3
基金積立金	0	1	▲1	皆減
諸支出金	55,399	62,089	▲6,690	▲10.8
計	43,821,469	44,952,203	▲1,130,734	▲2.5

## 歳入予算の主な増減

### ■款：国民健康保険料

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>7,784,688千円</b>	8,198,002千円	<b>▲413,314千円</b>	<b>▲5.0%</b>

世帯数の減に伴う減 約 2. 2 億円  
 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う  
 世帯所得の減等による減 約 1. 9 億円

### ■款：県支出金

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>31,903,801千円</b>	32,444,593千円	<b>▲540,792千円</b>	<b>▲1.7%</b>

普通交付金の減 約 5. 8 億円

### ■款：繰入金

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>3,964,297千円</b>	4,104,123千円	<b>▲139,826千円</b>	<b>▲3.4%</b>

基盤安定費繰入金の増 約 1. 5 億円  
 その他一般会計繰入金の減 約 3. 2 億円

## 歳出予算の主な増減

### ■ 款：保険給付費（細々目：一般被保険者療養給付費ほか）

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>31,500,400千円</b>	32,118,642千円	▲618,242千円	▲1.9%

● 一般被保険者療養給付費等の減 約 6.2 億円

### ■ 款：保健事業費（細々目：健康推進費）

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>131,636千円</b>	138,582千円	▲6,946千円	▲5.0%

第 2 期データヘルス計画中間評価業務委託の減  
4,474千円（皆減）

- ・ 若年層対策健康診査（郵送型血液検査）業務委託  
【別冊P13】 3,532千円
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防事業 9,313千円
  - ・ 重複・多剤服薬者対策事業 5,630千円
  - ・ 人間ドック等費用助成【別冊P14】 20,839千円
- ・ 後発医薬品の使用啓発 3,899千円

### ■ 款：保健事業費（細々目：特定健診事業費）

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>303,190千円</b>	311,554千円	▲8,364千円	▲2.7%

- ・ 特定健康診査業務医療機関委託【別冊P12】  
275,301千円
- ・ 未受診者受診勧奨業務 9,757千円
- 【新】特定健診の実施医療機関の拡充（三木町・綾川町）

### ■ 款：保健事業費（細々目：特定保健指導事業費）

R 3 当初予算見通し	R 2 当初予算	増減額	対前年度比
<b>34,879千円</b>	35,650千円	▲771千円	▲2.2%

● …令和 3 年度重点項目

## 報告事項

### 3 第2期高松市データヘルス計画中間評価及び見直しについて

## 第2期高松市データヘルス計画中間評価及び見直し

令和2年度は中間評価の実施年度に当たることから、計画の目的及び目標の達成を目指すため、健診結果やレセプトデータ等の分析を行い、これまでの取組を評価し、必要な見直しを行う。

### ■データヘルス計画の目的

健康寿命の延伸と生活の質（QOL）の向上及び保険給付費の適正化を図ること

### ■計画期間

平成30年度～令和5年度（6年間）

### ■経緯

平成29年度 医療費分析

平成30年3月 「第2期高松市データヘルス計画」を策定

平成31年度～ 年度評価を実施

令和2年度 中間評価

### ■進捗管理

高松市保険給付費適正化プロジェクトチームにおいて、PDCAサイクルによる進行管理を行うこととしている。また、中間評価に当たっては、高松市国民健康保険運営協議会から指導・助言を受けるもの。

## (1) 第2期高松市データヘルス計画中間評価の概要

13の目標に対し、評価指標の目標値が17あり、そのうち評価が4以上は13個（76.5%）であった。  
22の事業に対し、評価指標の目標値が40あり、そのうち評価が4以上は28個（70.0%）であった。

分野	目標数	評価指標数	評価（目標値の数：17）						事業数	評価指標数	評価（目標値の数：40）					
			5	4	3	2	1	外			5	4	3	2	1	外
①国民健康保険に関する目標と事業	6	6	3	5					14	29	8	10	7	1	1	3
②介護保険に関する目標と事業	4	4	1	3					5	6	4	2				
③共通の目標と事業	3	3	1		1	1		2	3	4	3	1				
計	13	13	5	8	1	1		2	22	39	15	13	7	1	1	3

※1つの評価指標に対し複数の目標値を設定しているものや、1つの事業に対し複数の評価指標を設定しているものもある。

評価	評価基準	
5	達成率100%以上	（目標を達成している）
4	達成率85%以上100%未満	（目標をおおむね達成している）
3	達成率70%以上85%未満	（目標をある程度達成している）
2	達成率60%以上70%未満	（目標をやや下回っている）
1	達成率60%未満	（目標をかなり下回っている）
外	評価対象外	（個別事情により評価不可となったもの）

## (2) 第2期高松市データヘルス計画の中間評価

### ①国民健康保険に関する目標と評価

目標の評価指標		H28 (基準値)	H30 (目標値)	R元 (目標値)	評価
			H30 (実績値)	R元 (実績値)	
1	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	男性：50.3%	48.3%	46.4%	4
		女性：17.2%	16.5%	15.8%	
			<b>53.6%</b>	<b>52.9%</b>	
			<b>18.5%</b>	<b>18.3%</b>	
2	特定健診受診者のうち、HbA1c値が8.0%以上の人の割合	1.1%	1.1%	1.1%	5
			<b>1.1%</b>	<b>1.1%</b>	
3	特定健診受診者のうち、eGFR値が60ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満、又は尿蛋白(+)以上の人の割合	18.7%	19.4%	19.4%	4
			<b>25.2%</b>	<b>23.2%</b>	
4	人工透析患者数(40歳以上75歳未満)	373人	360人	360人	4
			<b>365人</b>	<b>377人</b>	
5	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)(人口10万対)	男性：91.0%	90.7%	90.2%	5
		女性：50.2%	49.9%	49.4%	
			<b>84.6%</b>	<b>外</b>	
			<b>56.8%</b>	<b>外</b>	
6	国民健康保険被保険者1人当たりの保険給付費	347,014円	384,000円	384,000円	5
			<b>369,981円</b>	<b>379,355円</b>	

## (2) 第2期高松市データヘルス計画の中間評価

### ②介護保険に関する目標と評価

☆・・・評価指標を見直すもの

目標の評価指標		H28 (基準値)	H30 (目標値)	R元 (目標値)	評価
			H30 (実績値)	R元 (実績値)	
7	自立高齢者率 (介護・支援を必要としていない65歳以上の高齢者の割合)	79.1%	78.9%	78.7%	5
			<b>78.8%</b>	<b>78.7%</b>	
8	自立後期高齢者率 (介護・支援を必要としていない75歳以上の高齢者の割合)	61.7%	62.2%	62.4%	4
			<b>61.8%</b>	<b>62.1%</b>	
9	☆要介護認定者 (サービス利用者) のうち、新規認定者の悪化率	16.0%	16.0%	16.0%	4
			<b>19.2%</b>	<b>21.8%</b>	
10	1人当たりの介護サービス費用額	143,800円	外	146,900円	4
			<b>148,693円</b>	<b>150,596円</b>	

## (2) 第2期高松市データヘルス計画の中間評価

### ③共通の目標と評価

目標の評価指標		H28 (基準値)	H30 (目標値)	R元 (目標値)	評価
			H30 (実績値)	R元 (実績値)	
11	特定健診受診者で、運動や食生活等の生活習慣を「改善するつもりである」又は「近いうちに改善するつもりであり、少しずつ始めている」と回答した人の割合	35.8%	36.2%	36.4%	5
			<b>36.1%</b>	<b>36.6%</b>	
12	特定健診受診者で、「1回30分以上の運動習慣なし」及び「1日1時間以上の身体活動なし」の割合の減少	運動：56.1%	55.0%	54.0%	3
				<b>58.0%</b>	
		身体：48.2%	47.0%	46.0%	2
			<b>50.6%</b>	<b>62.4%</b>	
13	健康寿命と平均寿命の差の縮小	男性：14.7年 女性：19.5年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加		外
			外	外	

## (2) 第2期高松市データヘルス計画の中間評価

☆・・・評価指標を見直すもの

○・・・H30実績・目標値を用いているもの

### 各事業の評価

事業		指標	基準値	実績 R元年度	目標値 R元年度	評価
(1)	特定健診	特定健診受診率	42.9%	45.5%	60.0%	3
(2)	特定健診未受診者受診勧奨事業	☆対象者の特定健診受診率	14.7%	○15.4%	○15.0%	5
(3)	特定保健指導	特定保健指導実施率	35.3%	38.7%	55.0%	3
		特定保健指導対象者の減少率	21.7%	18.1%	22.8%	3
(4)	健康ポイント事業	特定健診受診率（再掲）	42.9%	45.5%	60.0%	3
(5)	糖尿病予防教室	糖尿病予防教室参加率	6.0%	5.0%	6.1%	3
		教室参加者の次年度の特定健診の結果、HbA1c値が6.5%以上の人の割合	1.8%	4.9%	3.1%	4
(6)	糖尿病要医療受診勧奨推進事業	対象者の医療機関受診率	70.1%	51.9%	71.0%	3
		対象者の次年度特定健診の結果、HbA1c値が8.0%以上の人の割合	2.3%	○5.5%	○2.1%	4
(7)	糖尿病治療中断者再受診勧奨事業	対象者の医療機関受診率	80.0%	54.8%	81.0%	2
		対象者の次年度特定健診の結果、HbA1c値が8.0%以上の人の割合	14.3%	○13.3%	○12.1%	4
(8)	CKD予防対策 (保健指導)	CKD予防教室参加率	24.7%	11.9%	25.0%	1
		教室参加者の次年度特定健診の結果、eGFR値が50(70歳以上は40)未満又は尿蛋白(++)以上の人の割合	9.5%	○7.9%	○9.1%	5

【評価が2又は1と低くなった理由】それぞれ年度末に実施する事業であるため、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、糖尿病治療中断者への再受診勧奨や、慢性腎臓病予防教室を一部中止したことなどから、目標値を大幅に下回る結果となった。

## (2) 第2期高松市データヘルス計画の中間評価

### 各事業の評価

☆・・・評価指標を見直すもの

事業		指標	基準値	実績 R元年度	目標値 R元年度	評価
(9)	CKD予防対策（受診勧奨）	受診勧奨実施者の医療機関受診率	56.6%	65.0%	60.0%	5
(10)	糖尿病性腎症重症化予防	個別の保健指導実施率	96.7% H29年度	96.0%	100.0%	4
(11)	がん検診	がん検診受診率	胃43.3% 大47.6% 肺50.8% 子51.8% 乳59.9%	51.4% 51.9% 57.0% 52.0% 50.9%	55.0% 55.0% 55.0% 55.0% 55.0%	4 4 5 4 4
		精密検査受診率	胃94.9% 大66.4% 肺95.3% 子80.4% 乳97.2%	96.0% 75.0% 93.5% 91.7% 96.6%	95.0% 90.0% 95.0% 90.0% 90.0%	5 3 4 5 5
(12)	ジェネリック医薬品の使用促進事業	差額通知対象者のジェネリック医薬品切り替え率	10.3%	12.9%	11.0%	5
		ジェネリック医薬品の使用率	66.3%	73.8%	80.0%	4
(13)	重複・頻回受診対策事業	☆通知対象者数(人)	重複13 頻回206	外	4 50	外
(14)	重複・多剤服薬者対策事業	☆通知対象者数(人)	2,074 H29年度	外	1,600	外

## (2) 第2期高松市データヘルス計画の中間評価

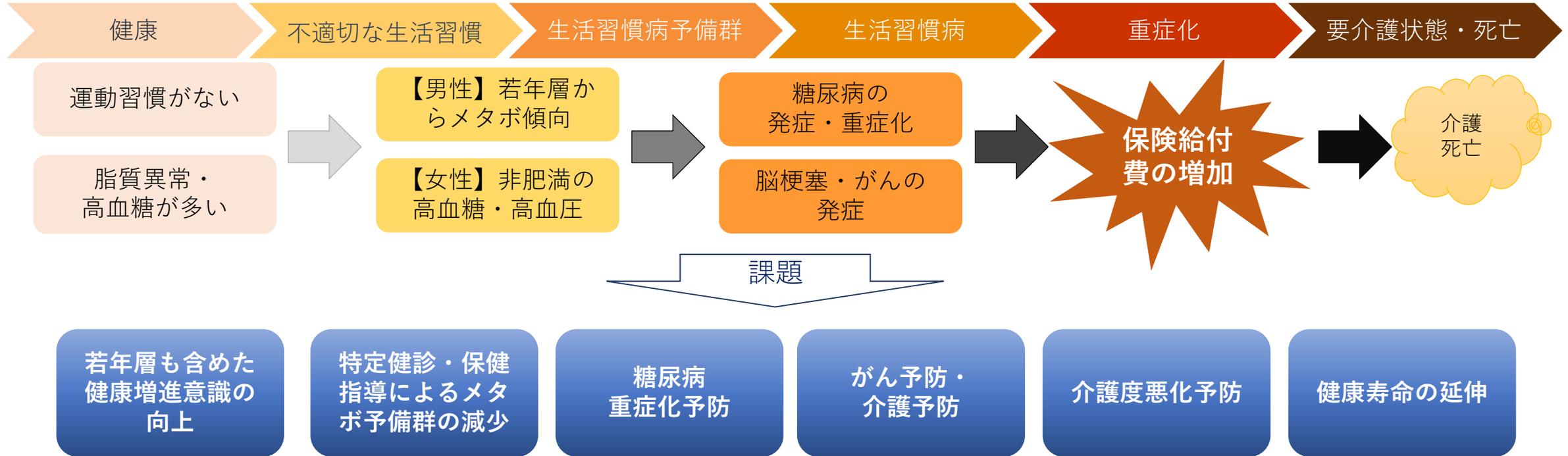
### 各事業の評価

☆・・・評価指標を見直すもの

事業		指標	基準値	実績 R元年度	目標値 R元年度	評価
(15)	要介護（要支援）認定者のサービス未利用者対策	サービス未利用者率	16.9%	16.1%	16.3%	5
(16)	高齢者居場所づくり事業	主観的健康観の維持向上率	92.1%	95.5%	94.0%	5
(17)	介護予防普及啓発事業	☆各種介護予防教室の延べ参加者数	35,565人	42,315人	33,700人	5
		☆居場所やサロンにおける「のびのび元気体操」普及率	23.0%	97.7%	90.0%	5
(18)	瓦町健康ステーション事業	施設の利用者数	75,679人	72,227人	76,000人	4
(19)	介護予防ケアマネジメント	☆要支援認定者（サービス利用者）のうち、新規認定者の悪化率	16.0%	21.8%	16.0%	4
(20)	保険給付費適正化に関する周知啓発活動	周知回数	29回	176回	60回	5
		特定健診において生活習慣を「改善するつもりはない」と回答した人の割合	28.9%	20.4%	27.5%	5
(21)	ウォーキングマップを活用した健康づくり事業	運動教室参加人数	1,993人 H30年度	1,569人	1,100人	5
(22)	運動推進普及啓発事業	市政出前ふれあいトーク等の参加者数	249人 H30年度	179人	200人	4

### (3) 第2期高松市データヘルス計画の課題と今後の取組

#### 本市における健康の現状と課題等



#### 今後の取組

#### 健康増進・保険給付費の適正化に向け、より年齢や健康状態に即した取組を実施

- ・生活習慣病予防と介護予防の一体的な分析・事業展開・評価を実施
- ・IT・デジタル化の推進など事業の在り方について検討
- ・関係課、医療機関等との連携の強化

## (4) 第2期高松市データヘルス計画の主な見直し

国のシステム変更や関連する諸計画との整合性等を踏まえ、評価指標等を見直す。

- 【見直し区分】 ①・・・システム変更（データ抽出不可）に伴い、データ抽出が可能な、より具体的な指標等に見直し  
 ②・・・関連する諸計画との整合性（事業内容の変更等）を踏まえた見直し

区分	No.	事業	評価指標（現行）	評価指標（見直し案）
①	(2)	特定健診未受診者受診勧奨事業	勧奨対象者の受診率	特定健診受診率（再掲）
	(13)	重複・頻回受診対策事業	通知対象者数	3医療機関以上、 15日以上受診した人数
	(14)	重複・多剤服薬者対策事業	通知対象者数	6種類以上、 90日以上処方があった人数
②	(17)	介護予防普及啓発事業	介護予防教室の参加者数	「はつらつくらぶ」参加者数
			「のびのび元気体操」普及率	「フレイル予防講座」参加者数
	(19)	介護予防ケアマネジメント	新規認定者の悪化率	要支援認定者(サービス利用者)の維持改善率
② 【新規】	(23)	運動習慣獲得のための出前健康教室	-	出前健康教室参加者数
	(24)	運動教室	-	参加者数

(17)(19)：第8期高松市高齢者保健福祉計画との整合性を図るもの

(23)(24)：「運動習慣・身体活動」に関し評価が低い「目標12」に、新たに位置付ける事業

※新型コロナウイルスの影響を考慮した見直しについては、今後の動向を確認した上で、次期第3期計画の策定時に状況に応じ検討する。



## 諮問事項

- 1 令和3年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針（案）について

## 令和3年度高松市国民健康保険事業運営の基本方針（案）

国民健康保険制度は、国民皆保険の中核となる医療保険であるとともに、地域住民の健康と医療を担う、地域に密着した医療保険制度であります。

しかし、被用者保険など他の健康保険制度に比べ、被保険者の年齢構成が高いことから、医療費水準が高く、また、低所得者層の加入割合が高いなど、構造的な問題を抱えております。

また、高齢化の進展や生活習慣の変化に伴う、疾病構造の多様化や生活習慣病の増加等により、本来、保険料で賄うべき医療給付費が、高い水準で推移していることから、本市では、毎年、一般会計から国民健康保険事業特別会計へ法定外繰入を行うことにより、財政収支の均衡を保っている状況にあります。

このようなことから、本市としましては、国保財政の健全化に向け、法定外繰入を削減し、将来的には解消できるよう、引き続き、公費の更なる獲得、口座振替の推進及び収納対策の強化など保険料収入の確保に取り組み、安定かつ持続的な国保制度を運営してまいりたいと存じます。

さらには、健康寿命の延伸、生活の質の向上及び医療費の適正化を図るため、県や医療機関等との連携を密にしながら、特定健康診査を始めとする健康づくり及び、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施等の各種取組を効果的・効率的に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたIT・デジタル化の推進などに積極的に取り組む必要があります。

これらのことを踏まえ、次に掲げる事項を重点項目として定めます。

## 重点項目

項目		概要	
1	国保財政の健全化	(1)	赤字削減・解消計画に基づき、目標年次を定め、保険料の適正賦課、収納率の向上、公費の獲得及び健康づくりのための取組により、医療費の適正化に努め、国保財政の健全化を図る。
		(2)	令和2年9月から導入した、窓口で口座振替の手続を完了することができる「ペイジー口座振替受付サービス」の更なる周知等により、口座振替の推進に努める。
		(3)	保険料滞納の状況・実態を把握し、徴収スケジュールや実施方法、徴収目標率等の具体的な目標を設定した「徴収計画プラン（仮称）」を策定し、効率的かつ効果的に収納率の向上を図る。
		(4)	相互扶助制度の趣旨を踏まえ、滞納者に対する被保険者資格証明書の交付や、滞納処分の実施など、公平かつ公正な対応に努める。
2	国保資格及び医療費の適正化	(1)	医療保険事務の効率化や、被保険者の利便性の向上等を目的とした「オンライン資格確認等システム」の運用に当たり、マイナンバーカードの取得及び被保険者証としての利用の促進に努める。
		(2)	香川県国民健康保険団体連合会との連携を強化し、第三者行為による求償対象者の早期把握や、保険医療機関等の診療報酬明細書及び療養費（柔道整復術・海外療養費）の、より適正な点検を行うなどにより、医療費の適正化に努める。
		(3)	被保険者の負担軽減及び保険給付費の削減を図るため、後発医薬品差額通知の送付等、後発医薬品の使用啓発に取り組む。
		(4)	医療費通知を送付し、適正受診に対する理解の促進を図る。

## 重点項目

項目		概要	
3	保健事業の推進	(1)	医療・健診データを活用し、P D C Aサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を実施する。
		(2)	特定健康診査や特定保健指導等の実施により、生活習慣病の発症や重症化の予防を図る。特に、特定健康診査については、実施医療機関の拡充や期間の延長など、より受診しやすい環境整備を行う。
		(3)	自己採血キットを用いた郵送型血液検査「若年層対策健康診査」等を実施し、若年期からの健康意識の醸成を図り、生活習慣病の発症や重症化の予防対策を推進する。
		(4)	医療機関と連携しながら、生活習慣改善のための適切な保健指導や、必要に応じた受診勧奨等により、糖尿病や慢性腎臓病の重症化予防を図る。
4	その他取組事項	(1)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に継続的に取り組み、高齢者一人一人の心身の多様な課題やニーズに応じた、きめ細やかな支援を行う。
		(2)	国民健康保険制度について市民の理解と協力を得るため、広報誌やホームページ、たかまつホッとLINE等へ掲載するなど、広報活動の充実強化に努める。
		(3)	女木島及び男木島に設置している国民健康保険直営診療所については、地域住民や利用者の意見を伺いながら、診療体制などに関する、今後の在り方の検討を行う。
		(4)	新型コロナウイルス感染症対策については、国や県からの通達等を踏まえて、適切に対応する。